



三池高校だより 1号

福岡県立三池高等学校 平成30年5月8日発行

校訓

- 進取…果敢に挑む
- 至誠…真心を尽くす
- 自治…自らを治める

○自立と協働を学ぶ体験活動

1年生は4月13日～15日の3日間、諫早で自立と協働を学ぶ体験活動を行いました。最初は不安もありましたが、大自然の中での集団生活を通して、自分の役割を認識し、互いに助け合い、三池高校生としての自覚と友情を育むことができました。

○第73回入学式

春風を頬に心地よく感じる4月7日、194名の新入生を迎えました。元気よく返事をして起立する姿に今後の可能性を大いに期待しました。1組の石川佑奈さん(橘中学校出身)の新入生代表宣誓も澁刺とされていて希望を感じさせてくれるものでした。



「樞ヶ丘に薫風来たる!!」 校長 西田 智「入学式式辞より(抜粋)」

新入生諸君、御入学おめでとうございます。本校は大正六年、福岡県立三池中学校として認可を受け、昭和23年福岡県立三池高等学校となり世紀をわたって今日に至っております。この間、時を重ねて三万四千人を超える有為の卒業生を社会に送り出した本校には、先輩方によって築かれてきた伝統と自由闊達な校風があります。高校は皆さんが心の底から、本心から求める夢を描くところであり、さらにその求める夢を育てるところであり、そしてその夢を実現するあるいは実現するための準備をするところでもあります。これから生きていく上で、夢や希望、目標、志は、日々の努力を続けていくうえで、活力の源になります。これまで小学校や中学校で抱いていた夢や目標をもとに、三池高校でもさらに大きな夢を描いて、その実現のために毎日の学校生活を大切に過ごしてほしいと思います。

本校の教育方針の根本であり、伝統と校風を象徴しているのが、創立まもなく制定された校訓と校歌です。校訓は「進取 至誠 自治」であり、ここに三池高校の生徒いわゆる三高生としての在り方が示されています。

一つ、「進取」とは、自ら進んで求める道に果敢に挑むということです。皆さんは高校生活に臨むに当たり、新たに挑戦したいことを胸に秘めていることでしょうか。新たな挑戦にはためらいや恐れも避けられませんが、決意を固めて挑戦することそのものに価値があります。挑戦した経験こそがこれから伸び盛りとなる皆さんにとって自信となります。

二つ目、「至誠」とは、真心を尽くすということです。皆さんはやがて一人の社会人として自立していくこととなります。周囲とのかかわりの中で生きていくうえで、お互いに助けられたり助けたり、逆に迷惑をかけられたり、かけたりすることもあることでしょうか。その時には感謝や謝罪の思いを素直に表し真心を尽くすことが大切です。

校訓の三つ目、「自治」は自らを治めるということです。これまでも、皆さんは中学校で最上級生として自主的自発的な活動を行ってきたことと思います。これからは高校生としてさらに積極的に活動して、自ら課題を見つけ、その解決方法を見出して新たな時代を切り拓く力を身に付けてくれると期待しています。新入生の皆さんもさっそく三池高校生徒会の一員として、先輩方とともに活気溢れる学校づくりに参加してください。

全員で蒼穹萬里を歌うたび僕の心は三池一色
行く前と雰囲気変わった二組見て楽しくなると確信できた
わくわくと不安詰めこむバスの中 帰りは積んでる変化の証
諫早に響く大声のど枯れる心一つに蒼穹萬里
諫早で仲間とともに成長し高校生活最初の思い出

五組	四組	三組	二組	一組
西原	日巻	江藤	高橋	田尻
萌(宅峰中出身)	拓馬(高田中出身)	愛(田隈中出身)	月麗(甘木中出身)	悠歩(歴木中出身)



心を一につに!!



野外炊飯、
みんなで食事!



履物が揃うと
心も…



雨の日も元気にガッツポーズ!

生徒感想文より

3組 丸山智恵(瀬高中出身)

私は3日間の自立と協働を学ぶ体験活動を通して、「挨拶の大切さ」と「周りに目を配ることの大切さ」を改めて感じる事ができた。研修に参加する前は、「恥ずかしい」や「緊張する」という弱い心に負けて、中々自分から挨拶をすることができていなかった。しかし、研修中に先生方や施設の方、他校の先生方に挨拶をした際に笑顔で私の目を見て挨拶を返してくださって、とても嬉しかった。今回、「挨拶」というものの大切さを身を持って知ることができたので、今後は自分から大きな声で、そして立ち止まって心地よい挨拶をしていきたい。

また、集団行動や野外炊事、部屋での生活の際に、自分の事だけではなく、一緒に行動している周りの人にも気を配ることは本当に大切だな、と改めて思った。野外炊事の時に、一人で器を持っていたら、班の子が「手伝うよ!!」とすっと半分持って手伝ってくれた。私自身、とても助かったし、嬉しくなった。私もそういう心がけを自然にすることができるように、いつも周りにも目を配っていきたく思った。この研修で学んだり、感じたりしたことを勉強面や生活面など、いろいろな所で生かすことができるように、三高生としての自覚を持って、これからの高校生活を送っていききたい。